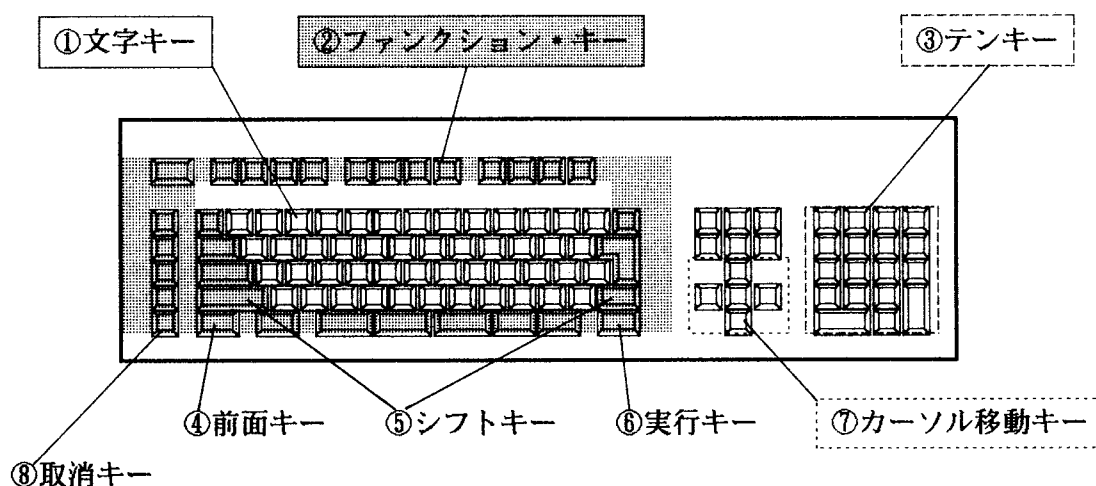


2. キーボード

1 各種キー群の配置



2 各種キーの機能

① 文字キー

中央の「ひらがな」「アルファベット」が表示されているキー群。入力モード切替キー（ファンクションキー）によって、一つの「文字キー」からカタカナやアルファベットの太文字・小文字、各種記号類などを打ち分けることができます。

② ファンクション（機能）キー

入力モードの切り換えや、入力された文字を漢字・熟語に変換したり、入力されている文字や図表の編集校正というワープロならではのいろいろな機能を実行するためのキー。

これらのファンクションキーは「文字キー」の周辺にあり、機能が表記されているキー群です。

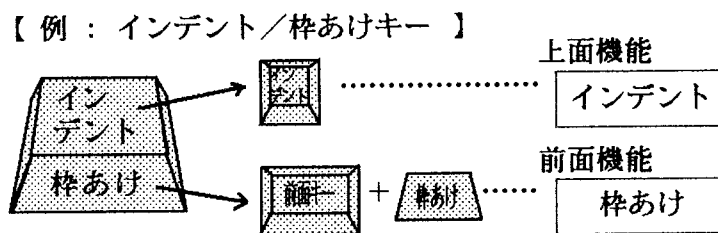
③ テンキー

キーボード右側に、電卓のように数字が並んでいるキー。
テンキーからは、入力モードに関係なく数字を入力することができます。

④ 前面キー



1つのファンクションキーに、複数の機能を持たせている場合、キーの上面と、前面に機能表示がされています。



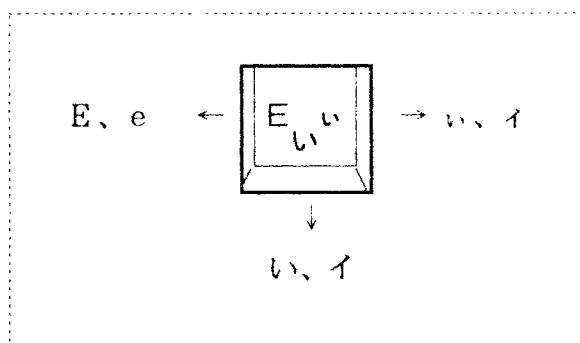
上面に示されている機能を指定したい場合は **ファンクションキー** を直接押します。

前面に示されている機能を指定したい場合は **前面キー** を押しながらさらに、**ファンクションキー** も押します。

⑤ シフトキー



1つの文字キーからは「ひらがな」や「カタカナ」、「アルファベット」などが打ち出せます。



たとえば、拗音（ようびん）の「ゅ」・「ュ」や、促音の「っ」・「ッ」、アルファベットの小文字モードで大文字の「A」などを入力するとき、反対に大文字モードで小文字の「a」などを入力するときに **シフトキー** を用います。

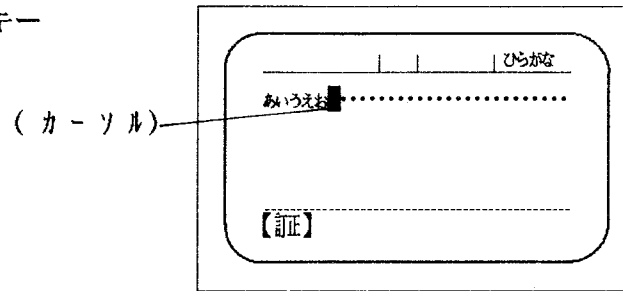
* 詳細は、25ページ「4-4・入力時の文字モード」を参照してください。

⑥ 実行キー



各種機能を選択した後、その機能を作動（実行）させるキーです。

⑦ カーソル移動キー



カーソルとは、ディスプレイ画面上で入力する文字の位置を指示したり、編集・校正の対象となる文字列や範囲を指定する「指標（マーク）」です。

カーソルは、画面上において **カーソル移動キー** により上下左右へ自由に移動させることができます。

⑧ 取消キー



機能の実行を中止する場合に使用するキーです。

操作ミスなどにより「エラーメッセージ」が表示されたときなど、**取消キー** を押すと、元の状態へ復帰します。

機能の選択ミスをしたとき、あるいは、わからない画面が表示されてしまったときは、**取消キー** を押し、わかる画面を表示させ、あらためて正しい操作を行います。

☆☆ 参考 : キーの押し方 ☆☆

キーは、指先で軽く「ポン！」と押しましょう。

長く押し続けたり、強くたたいたりしますと、ワープロ装置の方が、「連続して打ち込まれた」と判断して、同じ文字をたくさん表示したり、次の作業メニューに進んでしまうことがあります。